

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	適正処理対策室
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-839-2370
	基本事業	ごみの適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	ごみ適正処理指導事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市内約 8,400 箇所のごみステーションを適正に管理するため、家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報紙を通じて、市民への周知・啓発に努めるなど、ごみに関する意識の向上を図り、ごみステーションへ出される不適正ごみの削減を進める。		
5年度概要	ごみステーションの適正な管理を行うため、監視パトロールや看板の配布等の啓発活動を継続する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	市内全域のごみステーション
意図(どのような状態にしたいか)	ごみステーションの管理者や使用者の環境美化意識の向上を図り、適正なごみステーション管理を行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
ごみステーションパトロール件数	ヶ所	8,306	8,112	8,208	8,075	8,075

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	不適正管理ごみステーション対応件数	件	目標値	790	790	790	790	790
			実績値	944	864	816		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 特に不適正ごみが出されることが多いごみステーションを中心にパトロールすることで、対応件数は 864 件から、816 件に減らすことができた。 (目標達成度)						(達成度) 96.7%	33点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	147,809	156,611	155,023	156,869
(事業費)	[円]	4,155	4,025	3,846	5,692
(職員人件費)	[円]	143,654	152,586	151,177	151,177

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) ごみステーションの適正な管理を行うため、引き続き、監視パトロールや看板の配布等の啓発活動を継続した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 不適正ごみの排出者に対し、文書による個別指導を引き続き行うとともに、特に、住宅管理者に対しては、入退去時に、適正なごみの出し方の説明を行うことが効果的であるため、説明会での周知・徹底を依頼する。 また、市政出前ふれあいトークや環境学習などの体験型事業による啓発を通じて、事業者・市民のごみに関する意識の向上を図る。			

令和 5年度 (4年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境施設対策課
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-839-2102
	基本事業	ごみの適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	次期ごみ処理施設整備事業		事業期間	令和 2年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の一般廃棄物の中間処理施設である西部クリーンセンターが令和14年度末に稼働を終了するほか、南部クリーンセンターも同時期に稼働後約30年を経過することから、令和15年度以降も、安定したごみ処理運営を行うため、ごみ処理施設のあり方及び整備について検討を行う。			
5年度概要	用地に関する測量・地質・地歴調査、土地造成基本設計等を行うとともに、環境アセスメントに着手する。			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)	次期ごみ処理施設
意図(どのような状態にしたいか)	令和4年度に「次期ごみ処理施設整備基本計画」を策定するとともに、令和5年度以降に、測量・地質・地歴調査、土地造成基本設計等を行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
次期ごみ処理施設整備検討事業の進捗率(事業費ベース)	%	11.7	51	100		100
次期ごみ処理施設整備事業の進捗率	%			0	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	次期ごみ処理施設整備検討事業の進捗率(事業費ベース)	%	目標値	22	51	100		100
			実績値	11.7	51	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和4年度に目標としていた高松市次期ごみ処理施設整備基本計画を策定した。 (目標達成度)							35点
								(達成度) 100.0%
	次期ごみ処理施設整備事業の進捗率	%	目標値			0	5	5
			実績値			0		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和14年度までの全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%、その後の工事工程については事業費で進捗率を管理する。 令和4年度は、令和7年度に予定している基本設計完了に向けて、今後の作業内容や工程の確認、予算措置等を行った。 (目標達成度)							
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	17,352	32,712	39,789	96,553
(事業費)	[円]	2,388	17,612	24,821	81,585
(職員人件費)	[円]	14,964	15,100	14,968	14,968

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

建設候補地周辺住民の合意形成を得られるよう、引き続き丁寧な説明を行っていかほか、地域に新たな価値を創出できる施設整備を目指す。また、事業に多額の費用を要するため、国の交付金制度を最大限活用する。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

令和5年度は、測量・地質・地歴調査、土地造成基本設計等を行う。
